



医療経営士ニュース | これからの医療現場を担う経営人材のための機関紙

# MMS NEWS

2023 9 月号  
Vol.151  
毎月1回発行(通巻151号)  
編集:日本医療企画

一般社団法人日本医療経営実践協会 〒104-0032 東京都中央区八丁堀三丁目20番5号 S-GATE八丁堀9F TEL.03-3553-2906 <http://www.JMMPA.jp/>

第12回  
「全国医療経営士  
実践研究大会」  
大会直前!

## いざ大阪! 医療経営士の 熱を会場で体感せよ!

10月8日(日)にブリーゼプラザ(大阪市)で開催する第12回「全国医療経営士実践研究大会・大阪大会」の開催まであと1カ月と迫った。全国から医療経営士が一堂に会する年に一度の大イベント。今大会の見どころを改めて確認してみよう。

### ココでしか聞けない 貴重な講演に耳を傾けよう

全国大会では毎回医療界の注目を集める講演者が登場してきた。今回は特別講演に医療法人徳洲会理事長の東上震一氏、基調講演には医療法人清水会理事長で元衆議院議員の清水鴻一郎氏が登壇する。医療経営の最前線を熟知するお二方の

講演は医療経営士にとって「病医院の未来像」を描くためのマスターピース。ぜひ聴講していただきたい。

また給食会社の経営破綻が話題となっているなか、非常にタイムリーな内容となるのが日本栄養経営実践協会代表理事の宮澤靖氏のランチョンセミナーだ。入院時食事療養費の問題もあるなか、栄養部門からの病

院経営への提言は大いに参考になるだろう。

関西支部自主勉強会による特別プログラムも必見!

毎回大きな盛り上がりを見せる医療経営士による演題発表には10名が登壇する。会場で演題発表を聞けるのは2019年の仙台大会以来4年ぶ

り。医療経営士のパワーを現地でしっかりと吸収していただきたい。

さらに、今大会では新たな試みとして、関西支部の自主研究会である関西医療経営勉強会(世話人会代表・前田哲氏)が登壇し、ディスカッション「医療経営士の地位獲得を目指して」を行う。



### 会場の皆さまと一緒に ディスカッションしよう!

関西医療経営勉強会 世話人会代表  
西宮協立脳神経外科病院安全管理室課長  
前田 哲

今回、全国大会において自主勉強会としての発表の場をいただき、誠にありがとうございます。

今回私たちが行うディスカッションでは、壇上のメンバーが話して終わるのではなく、会場にいらっしゃる皆さんも巻き込んでいきたいと思っています。盛り上がるかどうかは参加されている皆さんがどれだけノッてくれるかにかかっているのです。ぜひご協力をお願いします!

また全国から大阪にいらっしゃる皆さま、ぜひ新世界で通天閣を見て、串カツを食べ歩いてください。皆さまと大阪でお会いできるのを楽しみにしています。

第12回「全国医療経営士実践研究大会・大阪大会」プログラム(抜粋) ※敬称略	
特別講演	「設立50周年を迎えて 徳洲会が目指す地平」 東上震一(医療法人徳洲会理事長/一般社団法人徳洲会理事長)
大会運営委員長・基調講演	「私が創造(想像)する病院の未来像」 清水鴻一郎(日本医療経営実践協会関西支部支部長/一般社団法人京都私立病院協会会長/京都清水メディケアシステム会長/医療法人清水会理事長/元衆議院議員)
研究助成最終報告	[演者] 渡邊亮(神奈川県立保健福祉大学ヘルスイノベーション研究科准教授) [座長] 尾形裕也(「医療経営に関する研究助成」選考委員長、九州大学名誉教授)
ランチョンセミナー	「病院における食材費高騰対策の最適解」 [演者] 宮澤靖(一般社団法人日本栄養経営実践協会代表理事/東京医科大学病院栄養管理科科长) [共催] 日清オイリオグループ株式会社
医療経営士演題発表 & ディスカッション	10名の医療経営士による演題発表 [座長] 吉長成恭(一般社団法人日本医療経営実践協会参与/甲子園短期大学特任教授・教育研究センター長)
関西医療経営勉強会・発表会	ディスカッション「医療経営士の地位獲得を目指して」 関西医療経営勉強会 世話人会一同

## 第12回 全国医療経営士実践研究大会 大阪大会

開催日  
**2023年  
10月8日  
日**

### 医療経営士が創造する 病医院の未来像 進化する医療経営とその成長戦略

参加エントリー  
ホームページにて  
受付中!

会場  
ブリーゼプラザ・  
小ホール  
大阪市北区梅田2-4-9  
ブリーゼタワー7F



大会運営委員長 | 清水 鴻一郎 | 日本医療経営実践協会関西支部支部長/一般社団法人京都私立病院協会会長/京都清水メディケアシステム会長/医療法人清水会理事長/元衆議院議員

関西医療経営勉強会から全国へ発信！

# 医療経営士の地位獲得に向けて 自分たちで積極的に動いていこう！

12回目となる全国大会で、地域支部の自主研究会としては初めてプログラムの一部を担うことになった関西医療経営勉強会。同勉強会の世話人会代表を務める前田哲さん（西宮協立脳神経外科病院安全管理室課長）と、同世話人である福井泰志さん（リブドゥコーポレーション経営企画室課長）、藤本修平さん（石黒メディカルシステム株式会社SPD事業部メッカル分析・GPOサービス担当主任）の3名に、関西医療経営勉強会について、また全国大会で行う企画についてお話を伺った。



## 真剣な参加者同士の 濃いつながりが 関西医療経営勉強会の魅力

— 関西医療経営勉強会について教えてください。

**前田** 発足は2017年4月。関西支部の勉強会で集まっていたメンバーといろいろ話をするなかで「自分たちでやりたいね」という話が出てきて、当時関連企業勤務で全国大会でも演題発表をされていた益田敏治さんが発起人となって声掛けいただいたのが最初です。その1年後くらいに益田さんから引き継ぎ、それから自分が世話人会代表を務めています。18年4月に関西支部支部長の清水鴻一郎先生に承認をいただき公認の自主研究会となりました。発足以来、今年6月までに34回の研究会を開催しています。

**藤本** 参加するようになったのは4～5年くらい前からです。資格を取って終わるのではなく、活動に参加して人脈を広げ、知識を増やしていかなければと考えていたときにこの会の存在を知りました。何度か参加しているうちに、「SPDについて話をしてもらえないか」というお声掛けをいただき、講師を務めたのをきっかけに世話人会の一員として参加させていただいています。

**福井** 自分は前田さんと同じく支部の勉強会から参加していて、発足当初から世話人会の1人として加わってきました。現場で苦労して課題解決してきた経験を聞き、アドバイスをもらい、意見交換をしていくなかで本当の人脈ができる。そういう人たちが発表し合って研鑽し合える、とても有意義な場だと思っています。

**藤本** 質疑応答も活発で、終わった後も和気あいあいと情報交換をして、普段感じている病院や関連企業の課題等を話し合える、大変密度の濃いコミュニケーションをとれる場所です。「ライバル企業がいるから話しぶらい」といったこともなく、知識向上のために参加している方が多いという印象です。

**前田** 関連企業の方も多く参加していますが、

営業のために来ているという方はほとんどいません。仕事上の利害関係なしに「医療経営士として学びたい」という想いで参加いただいています。だからこそこまで続けられているのだと思いますし、これからも大切な学びの場であり続けたいと思っています。

## 医療経営士は 自分たちの努力で もっと上に行ける資格

— 今回のディスカッション「医療経営士の地位獲得を目指して」の内容はどのように決まったのですか？

**前田** 今回、全国大会で何かやらないかというお話をいただき、世話人会のメンバーに相談したところ、「ぜひやろう！」という力強い返事をいただき、やるということはすぐに決まりました。何をやるかを相談するなかで、以前から話をしてきた医療経営士という資格の地位向上に繋がらねないかということになりました。

**福井** 医師や看護師は学会がありますし、他の専門職もそれぞれ同じ職種同士で横のつながりがありますが、事務方にはそういったつながりはなく、そこに登場した医療経営士という資格に皆さん可能性を感じ、いい資格だと思って取得されているはずですが、この資格はもっと確固たる地位を確立していかなければならないはずなのに…とモヤモヤしている方も多いのではないのでしょうか。だったら自ら地位向上の活動をしていったほうが、自分の勉強にもなるし一挙両得のはず。そのような動きを医療経営士のなかで盛り上げていくきっかけにできればと思っています。

**藤本** 医療経営士について「資格は取ったけれど役に立たないよね」という声を聞くことがあります。それは違うと思っていました。資格を取ったことを生かして結果を出して、自分の力で地位を向上させていくべきですし、自分もそうしてきました。当日は実際にどのようなことをしてきたのか、話をさせてもらおうと思っています。

**前田** お二人は今話に出たようなことを、本

当に実力で証明してきた方です。医療経営士の資格を実力で職場に認めさせて、資格手当や受験料の補助といった実績を得ていますので、その具体的な取り組みについてもお話しさせていただきたいと思っています。

## 参加する皆さんの背中を押して 全国で医療経営士を 盛り上げたい！

— ディスカッションを通して皆さんに一番伝えたいことを教えてください。

**藤本** 全国大会に参加される皆さまは日頃からインプットする意欲のある方だとは思いますが、得たものをしっかり自分の組織のなかでアウトプットして、資格の認知度を上げていくことも意識していただきたいと思っています。病院や企業のなかでの医療経営士の地位向上に期待していますし、そういう取り組みを医療経営士のなかで共有してさらに広げていきましょう！

**福井** 資格って「使ってなんぼ」だと思っています。いかにインプットして、それぞれの現場でアウトプットするか。そういう取り組みの積み重ねで、資格に“ハク”がついてきて、病院や企業がそこに対してお金を出すようになっていくはず。医療経営士一人ひとりが自身の所属している場所でアウトプットし続けることが重要なのではないかと思います。今回のディスカッションを通して「自分もやろう」と思っただけならば嬉しいです。

**前田** 医療経営士という資格は、取るまでよりもむしろ取ったからのほうが勉強だと思っています。資格を取ることで視野が広がり、学ばべきものがたくさん見えてくるはず。取っただけで終わっているのはもったいない。私たちの会をはじめ、全国で自主勉強会が活動していますから、皆さんにはもっとアクティブに勉強会に参加していただきたいですね。どんどんインプットして自分を高め、さらに自分の職場でアウトプットして、医療経営士としての地位を獲得していただきたい。私たちのディスカッションが一步踏み出すきっかけになってくれることを願っています。

## みやぎ仙台ネットワーク&青森勉強会

# 医療経営現場の業務改善最前線を学ぶ

日本医療経営実践協会東北支部では、8月25日、みやぎ仙台ネットワークと青森勉強会が初めてとなる合同研究会を開催した。「最近の業務改善を共有しよう」をテーマにオンラインで行われた研究会の様をお伝えする。

### ちよつとした発想の転換が新たな解決策を導く

まず登壇した医療法人徳会事務長の小野寺和清氏は「パラダイムシフトで課題解決〜当直医編〜」と題し、発想の転換によってもたらされた事例を発表した。

自院の当直体制を大学病院に委託していたが、当直医のモチベーションの問題があり、また大学から医師不足で派遣が難しくなるという通告を受けたという小野寺氏。さまざまな解決策を検討していたが、「委託先は大学病院でなくてもよいのではないか」という発想の転換で、石巻赤十字病院との連携を推進。お互いメリットのある病棟連携を運用できるようになり、時間外救急車受入率が10%以上も上がる成果につながったという。

報共有の迅速化が可能になったとし、「漫然と業務を行うのではなく、常にこれでいいのかわかると疑ってかかると課題がみつかる。解決法も思考を変えて様々な角度から見ることで解決策が導き出せる」とした。

続いては医療法人松田会事務部長の佐竹直也氏が登壇。「レセプト短縮プロジェクトでみんなが幸せになった事例」と題して報告を行った。

佐竹氏は冒頭、毎月のレセプト業務は10日の午前中に完成させることが通例で、レセプトの提出は10日の昼から午後にかけて対面で行っていたという自院の状況を説明。医事課の職員は月の前半は休日出勤が当たり前前にならなくなった状況を踏まえ、レセプト期間中の作業効率向上、休日出勤者の減員、レセプト提出を郵送に移行していく方針を固めたと話した。

くり、メンバー選出、目的共有、期限の設定を行ったうえで、まずは現状分析によりカットできる業務、作業工程を洗い出すことから始めたという佐竹氏。明確な目標設定、PDCAの着実な実行によりプロジェクトを進め目標を達成、「土日に頑張ればいい」という院内風土の変革にも成功したという。

佐竹氏は「現状維持バイアスからの脱却は第三者的関与、継続的支援が有効。当事者にメリットがある計画策定が重要成功要因だ」とし、さらに「失敗しても責めない、責任を押し付けない」という心理的安全性の担保も不可欠」と述べ、医療経営士が業務改善を支援するメリットは無限大だと訴えた。

### 現状を正確に把握して具体性のある提案を行う

最後に登壇した医療法人芙蓉会経営戦略室室長の菊

地俊輔氏のテーマは「清掃委託費をカット〜今までの当たり前を見直せ」。マンパワー不足で一部休床になったことで収支バランスの改善が急務となり、委託費内で突出して高かった清掃を見直すことになったという事例を報告した。

まずゾーニングについて調査を行ったという菊地氏。医局や事務室、会議室といったスタッフしか使用しない部分などの程度あるのかを確認すると清掃を委託していた面積の1/4程度がスタッフの占有部分だということになり、該当部分の清掃を週5回から週3回にすることで、全体工数で約10%のカットにつながったという。

さらに「それまで使用していたダスターモップをウエットタイプに変更」「病棟内の一般廃棄物回収を1日4回から2回に」「当直室のベッドメイクや外来口ビー椅子の拭き掃除で一部

を職員が担う」といった変革により、最終的には全体工数の約15%削減を達成したと話した菊地氏。

最後に「固定費が下がって万歳で終わりではなく、継続的にモニタリングしていくことが大事。将来的には清掃ロボットの導入も含めて、効率よく清浄度を確保できる作業方法を業者とも相談しながら検討していく」と述べ、今後もさらなる変革へ取り組みたい姿勢を示した。

講演後には質疑応答の時間が設けられ、3名の登壇者に対するそれぞれの講演に関する質問のほか、事前に関連した医療経営に関するさまざまなテーマについてのディスカッションが行われた。参加者からは「早速うちの病院でもやってみよう」という声や「聞かれるなど、大いに参考になった様子」がうかがえた。



当日の講演テーマに限らずさまざまな意見が交わされたディスカッション

# 月刊医療経営士

次代を担う医療経営人財をサポートする「医療経営士応援マガジン」

## 特集 医療経営士がリードする物流マネジメント革命

10月号 好評発売中!!

新型コロナウイルス感染症の流行初期、医療材料不足は医療提供に大きな影響を及ぼした。この教訓を踏まえ医療提供に支障が出ないような物品管理が重視されるようになったが、物価高騰も続くなか、効率性向上やコスト削減を見据えた戦略が必須。本特集では物流マネジメントにおいて医療経営士が果たすべき役割を解説する。

詳細・ご購入は  
こちら



## 事務局掲示板

全国大会ポスターを職場に掲示しませんか？  
ご希望される会員の方に無料で配布中！

第12回「全国医療経営士実践研究大会」大阪大会のポスター／チラシを掲示していただける会員の方を募集しています。ご希望の方は「全国大会ポスター（またはチラシ）希望」と件名をつけ、お名前、認定登録番号、送付先住所、電話番号、必要枚数を明記の上、下記メールアドレスまでご連絡ください。



## 【ポスターのお申し込み】

E-mail : info@jmmpa.jp

医療経営士の所属をPRしよう！  
所属先の掲載ご協力をお願い

本協会のホームページでは、会員の皆様から掲載の同意をいただいて、医療経営士が所属する医療機関・企業名を公開しています。医療機関の抱えるさまざまな経営課題を迅速かつ的確に解決できる能力を持った医療経営士の所属先を公開することで、経営力を持った医療機関であること、医療機関のマネジメントを支援できる人材を有する企業であることをアピールすることができます。掲載の同意をいただける方は、下記URLからご登録ください。

## 【ご登録はこちらから】

<http://www.jmmpa.jp/support/cat108>

## PICK UP 研究会

## 東北支部

第18回みやぎ仙台ネットワーク  
「銀行員が語る！医療事業者のための銀行交渉術」

2020年12月に発足したみやぎ仙台ネットワークでは、「ともに学び、ともに考え、ともに成長する」を合い言葉に、気軽に情報交換ができる横のつながりをつくることと、宮城県内1病院1医療経営士の育成を目標に活動しています。

18回目となる研究会のテーマは「銀行交渉術」。銀行との交渉は、事業の継続・成長のために必要不可欠です。しかし病院の方にとってはどこがポイントなのかわからず、先方の言うがままになってしまうことも。今回は講師に医療経営士2級で株式会社仙台銀行地元企業応援部法人推進室の工藤和志氏をお迎えし、金融機関側からの視点から交渉の秘訣をお話しいたします。銀行交渉のプロセスを明確にし、医療事業者として、今後のさらなる発展のために銀行交渉術を磨きましょう。

- 日時 2023年10月13日(金)  
19:00~20:30(質疑応答含む)
- 開催形式  
オンライン(Zoom)
- 講師 工藤和志氏  
(株式会社仙台銀行地元企業応援部  
法人推進室)
- 参加費 無料(医療関連企業へお勤めの方は  
医療経営士のみ参加可)
- 主催 日本医療経営実践協会東北支部
- お問い合わせ先  
東北支部事務局  
(株式会社日本医療企画東北支社内)  
担当:三浦  
TEL: 022-281-8536



工藤和志氏



## 日本医療経営実践協会 支部研究会スケジュール

開催日	開催支部	テーマ	講師
10月13日(金)	東北	第18回みやぎ仙台ネットワーク 「銀行員が語る！医療事業者のための銀行交渉術」	工藤和志氏(仙台銀行地元企業応援部法人推進室室長補佐)
10月19日(木)	関西	イチからわかる 病院経営オンライン塾 第1回「病院経営を取り巻く環境を学ぶ」	古株靖久氏(有限責任監査法人トーマツ)
11月16日(木)	関西	イチからわかる 病院経営オンライン塾 第2回「病院の外部環境分析を学ぶ」	古株靖久氏(有限責任監査法人トーマツ)
12月9日(土)	東北	第2回医療経営士実践研究大会東北支部大会	長英一郎氏(東日本税理士法人) ほか
12月21日(木)	関西	イチからわかる 病院経営オンライン塾 第3回「病院の内部環境分析を学ぶ」	古株靖久氏(有限責任監査法人トーマツ)

※日程等は変更になる場合があります。詳細は協会ホームページでご確認ください。

## 好評配信中 各10分のショート動画でスキマ時間を有効活用! WEB講座

日本ヘルスケア  
経営学院  
公開講座

医療現場のコミュニケーション&  
ハラスメント対応スキルアップ研修

講座概要



●講師  
石井富美氏  
(多摩大学医療・  
介護ソリューション  
研究所副所長)

講義内容

- ①ブランディングの鏡
- ②医療現場のトラブル対応
- ③医療現場のハラスメントの仕組みと対処法
- ④コミュニケーションスタイルを知ろう
- ⑤コミュニケーションスキルアップ

- ▶参加料:4,400円(税込)
- ▶講義時間:各10分程度(全5本)
- ▶受講期間:20日間

お申込みはコチラ➡

【お問い合わせ先】日本ヘルスケア経営学院 事務局(日本医療企画内) ☎03-3553-2862 <https://hcmi-s.net/>